参考様式（変更内容説明書Ａ）

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更内容説明書Ａ（住宅・標準計算）

[Ａ　エネルギー消費性能を向上させる変更又は当該性能に影響しないことが明らかな変更]

|  |
| --- |
| ・変更は、次のイからニに該当する。 |
| □　イ　外皮の各部位の熱貫流率若しくは線熱貫流率又は日射熱取得率が増加しない変更（外皮面積が変わらない場合に限る。）、又は開口部面積が増加しない変更  □　ロ　通風等の利用によりエネルギー消費性能が低下しない変更  □　ハ　空気調和設備等の効率が低下しない又は損失が増加しない変更（制御方法等の変更を含む。）  □　ニ　エネルギーの効率的利用を図る設備の新設又は増設 |
| ・具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するもの全てのチェックボックスに「✔」マークを記入することとし、「✔」マークを記入した事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

参考様式（変更内容説明書Ｂ）

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更内容説明書Ｂ（住宅・標準計算）

[Ｂ　一定以上のエネルギー消費性能を有する建築物について、一定の範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更]

|  |
| --- |
| ・変更前の設計一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量を除く。）が基準一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量を除く。）に比較し10％以上少ない建築物エネルギー消費性能確保計画に係る変更に該当する。 |
| ・変更前のＢＥＩ＝　（　　　　　　）　≦　基準値（　　　　　）×０．９ |
| ・変更は、次のイ又はロに該当する（イとロの変更を同時に行う場合を除く）。 |
| □　イ　床面積  主たる居室、その他の居室又は非居室の床面積について、それぞれ10％を超えない増減 |
| □　ロ　外皮  外皮面積の合計に変更がなく、変更前の外皮平均熱貫流率、冷房期の平均日射熱取得率が基準値の0.9 倍以下の場合に、次の（イ）から（ニ）のいずれか（同時に二以上の変更を行う場合を除く。）に該当し、これ以外の事項についてエネルギー消費性能が低下しない変更 |
| □　変更前の外皮平均熱貫流率UＡ＝（　　　　　　）≦　基準値（　　　　　）×０．９  □　変更前の冷房期の平均日射熱取得率ηＡＣ  ＝（　　　　　　）≦　基準値（　　　　　）×０．９ |
| □　（イ）開口部の面積増加分が外皮面積の合計の1/200を超えない変更  □　（ロ）変更する開口部面積が外皮面積の合計の1/200 を超えない場合の開口部の断熱性能、日射遮蔽性能若しくはその両方が低下する変更又は日射遮蔽部材をなくす変更  □　（ハ）変更する外皮の面積の合計が外皮面積の合計の1/100 を超えない場合の開口部以外の外皮の断熱性能が低下する変更  □　（ニ）基礎断熱の基礎形状等の変更 |
| ・具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するもの全てのチェックボックスに「✔」マークを記入することとし、「✔」マークを記入した事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |